

長野県出資等外郭団体評価制度における評価項目及び評価基準

評価項目 / 評価基準	
I 団体の目的・使命(業務の必要性、業務の効率性、外郭団体で実施することの可否)	
A	明確であり、重要性が向上している
B	明確であり、重要性は横ばいである
C	目的・使命の重要性が低下している
D	目的・使命が消滅している
備考	・おおむね5年以内に、目的・使命の消滅が見込まれる場合はDとする ・「A」評価は、評価対象年度において、国・県等の政策や計画などで新たに目的・使命が位置づけられたり、社会情勢の変化により新たな対応が必要となったりした場合とする
II 事業の実施状況(効率性、財務内容を含む)	
A	良好に実施され、経営の継続性に問題がない
B	次のいずれかに該当 ・ほぼ良好に実施され、経営の継続性に問題がない ・評価対象年度において赤字決算であっても、中長期経営計画を策定済みであり、赤字額が計画の範囲内である場合
C	次のいずれかに該当 ・評価対象年度において赤字決算である ・事業の実施状況に良好でない部分がある ・3期以上連続して赤字決算であっても、中長期経営計画を策定済みであり、赤字額が計画の範囲内である場合
D	次のいずれかに該当 ・3期以上連続して赤字決算であり、評価対象年度の赤字額が資本額又は正味財産額(債務償還にあてることのできる引当金を含む)の5%以上である ・評価対象年度において債務超過である ・事業の実施状況に重要な不具合がある
備考	・赤字決算(当期経常損益がマイナス)の場合又は類似業務を行っている他の主体と比較して効率性が劣る場合は、他の問題がなくてもC又はDとする ・債務超過である場合は、他の問題がなくてもDとする
III 目的の達成状況(期待された成果が得られているか)	
A	達成されている
B	ほぼ達成されている
C	達成されていない部分がある
D	達成されていない
備考	・当該年度の事業計画で掲げた数値がある場合は、当該計画を上回った場合にA、おおむね9割以上の場合Bとする
IV 基本方針の進捗状況	
A	予定どおり進捗している
B	ほぼ予定どおり進捗している
C	進捗していない部分がある
D	進捗していない
V 今後の事業執行上の課題	
A	課題がない又は課題はあるが団体独自に対応が可能
B	課題の解決に外部からの支援を必要としているが、確定した方針により対応している
C	課題の解決に外部からの支援を必要としており、対応に困難をきたしている
D	課題の解決に外部からの支援を必要としており、対応に重大な困難をきたしている